



◆ 福岡県田川市における緊急地震速報防災講演会

6月22日、福岡県田川市立鎮西小学校において、緊急地震速報防災講演会を実施しました。

主催は緊急地震速報利用者協議会、田川市（同協議会賛助会員）と気象業務支援センターで、後援は福岡管区気象台及び鎮西校区活性化協議会により行われました。

講演会は同協議会赤星総合部会長及び伊加利（イカリ）区長の小島様のご挨拶に始まり、二つの講演が行われました。

最初の講演は福岡管区気象台森博一地震情報官で、「緊急地震速報とは？気象庁から発表される仕組み、速報の内容、発表の条件、速報の限界」などについてお話し頂きました。

また、今年3月14日に発生した伊予灘地震の際に、「福岡県筑豊地方」に初めて発表された緊急地震速報について具体的にお話があり、緊急地震速報を見聞きした場合、時間的な猶予がないのでまず、身の安全を守ることが最優先です、と結ばれました。

続いて、山口大学大学院の瀧本浩一先生から「今から間に合う地震防災対策」と題し、防災とはなにかという観点で、地震に備えるための具体的なお話がありました。自主防災の活性化や役員への負担が重くならないよう皆の意識を変えて、日常の中で災害への予防ができるようにとすることで、例えば災害予防、応急対策、災害復旧の各ステージについて、インフルエンザ対策を例にしたお話があり、参加された方々にも分かり易かったと思われます。

また、各地域で普段から行われる行事やイベント（地域清掃・運動会・見回り活動・餅つき・・・）の際に防災に関することを取り入れて常に意識の啓発を行うこと。自主防災組織が効果的に活動し、災害による被害を最小限にするためには、地域住民が防災に関する正しい知識を持っている必要があること。そのためには、様々な機会をとらえて、継続的に防災知識の普及・啓発に取り組むことが重要であること。

地震はいつ起こるか不明であり、その対策は今日から、今できるところから始めることの重要性で締めくくられました。

この講演が田川市や田川市鎮西校区の皆様の啓発、地域の自主防災の更なる発展・向上に繋がればと期待する次第です。

